

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第34週の発生動向

全数報告の感染症 (34週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。4類感染症：レジオネラ症1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
		都城	70歳代	女	肺結核	症状なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	50歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O121(VT2産生)
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は750人(定点当たり23.5)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【ヘルパンギーナ】

報告数は142人(3.9)で、前週比115%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約1.9倍である。延岡(11.5)、中央(8.0)、日向(6.8)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~3歳が全体の約9割を占めた。

【手足口病】

報告数は116人(3.2)で、前週比92%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(3.9)の約0.8倍である。日向(7.3)、延岡(6.0)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~2歳が全体の約8割を占めた。

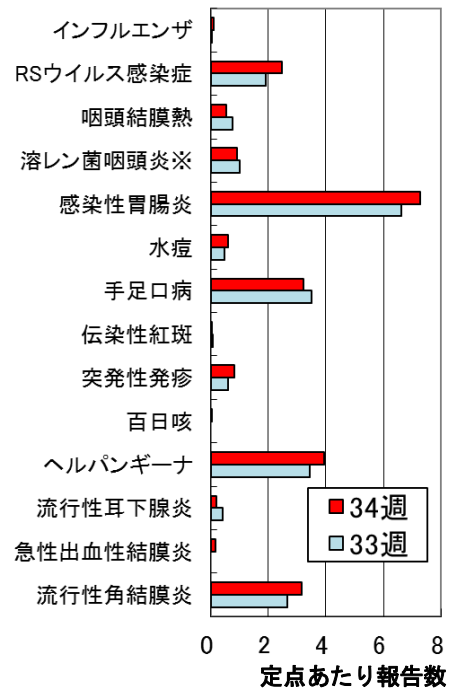
【RSウイルス感染症】

報告数は89人(2.5)で、前週比129%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約1.4倍である。日南(4.0)、宮崎市(3.7)、延岡(3.0)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~1歳が全体の約8割を占めた。

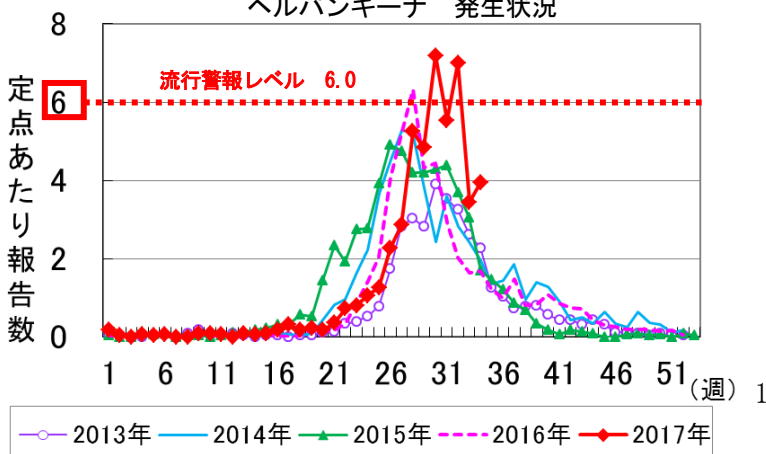
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

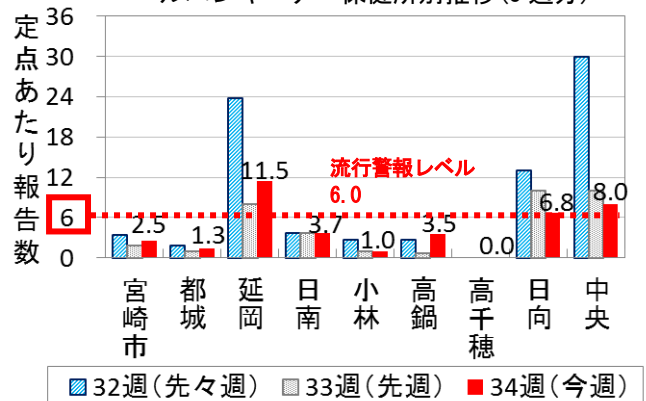
《前週との比較》

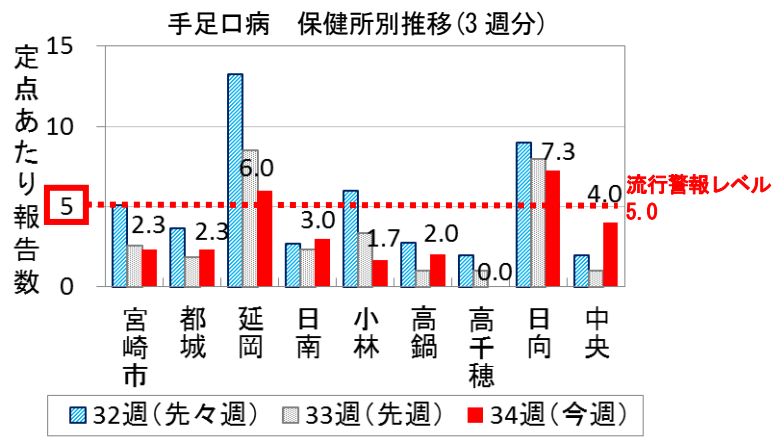
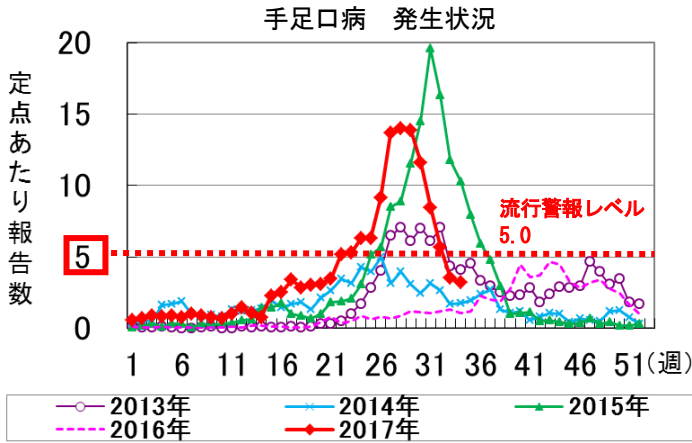


ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)

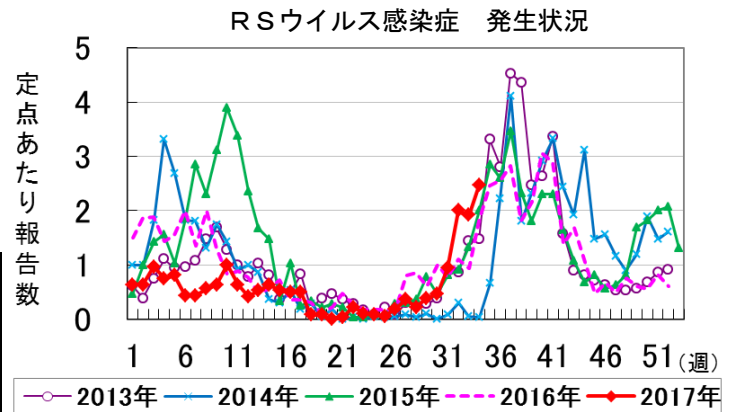




★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値
超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(6.0)、ヘルパンギーナ(11.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(7.3)、ヘルパンギーナ(6.8)
中央	ヘルパンギーナ(8.0)



＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

口病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 8 月 28 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC (O55:HUT)	40歳代	男	2017.07.31	水様性下痢、嘔気、嘔吐	便	2017.08.15
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	20歳代	女	2017.07.29	無症状	膣分泌物	2017.08.15
<i>Legionella pneumophila</i> SG1	50歳代	男	2017.08.02	発熱(37.3℃)、肺炎、意識障害、肝機能障害、腎不全	喀痰	2017.08.15
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	0~4歳	男	2017.07.31	-	便	2017.08.15
EPEC (O55:HUT)	0~4歳	-	2017.07.31	微熱、嘔気、嘔吐	便	2017.08.15
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	60歳代	女	2017.08.05	発熱(39.0℃)、血便、腹痛	便	2017.08.17
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	10歳代	男	2017.08.09	水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛	便	2017.08.15
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	10歳代	男	2017.08.09	発熱(39.2℃)、水様性下痢	便	2017.08.15
ETEC(OUT:H18)	10歳代	男	2017.08.12	発熱(38.5℃)、下痢、嘔気、嘔吐	便	2017.08.24
<i>Salmonella</i> Saintpaul (O4:e,h:1,2)	5~9歳	男	2017.08.17	発熱(40.0℃)、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛	便	2017.08.25

○20代前半の女性から *Neisseria meningitidis* (髄膜炎菌) が分離された。髄膜炎菌は、健康なヒトの鼻咽頭からも検出されることはあるが、5類感染症の侵襲性髄膜炎菌感染症として血液や髄液などの無菌的な部位からの検出報告が多い。当所ではこれまで、尿や膣分泌物からも髄膜炎菌が分離されている。グラム染色だけでは、同じナイセリア属菌である淋菌との鑑別は難しいため、尿や膣分泌物などにグラム陰性の双球菌が観察された場合には注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.05.23	手足口病、38.2℃、口内炎、水疱	咽頭ぬぐい液	2017.08.17
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.05.31	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.08.15
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.06.15	水疱疑い、手足口病疑い、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.08.17
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.07.06	エコーウイルス発疹症、39.3℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.08.17
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.07.10	手足口病、37.9℃、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.08.17
アデノウイルス6型	0～4歳	男	2017.05.30	発疹症、発熱、40.0℃、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.08.15
アデノウイルス2型	0～4歳	男	2017.05.31	ウイルス上気道炎疑い、38.5℃、上気道炎、下気道炎、下痢	咽頭ぬぐい液	2017.08.15
単純ヘルペスウイルス1型	0～4歳	女	2017.05.31	麻疹疑い、40.1℃、上気道炎(咽頭痛)、コプリック斑	咽頭ぬぐい液	2017.08.23
コクサッキーウイルスB1型	0～4歳	女	2017.06.01	炎症反応高値、不整脈、38.6℃、上気道炎(咽頭炎)	咽頭ぬぐい液 便	2017.08.23
ノロウイルスGⅡ	0～4歳	男	2017.07.25	胃腸炎、水様性下痢	便	2017.08.18
ノロウイルスGⅡ	0～4歳	女	2017.07.27	感染性胃腸炎、38.6℃、胃腸炎、下痢、血便(タール便、黒色便)	便	2017.08.18

○上気道炎、不整脈の乳児の咽頭ぬぐい液と便からコクサッキーウイルス B1 型 (CB1) が分離された。コクサッキーウイルス B 群は 1 型～6 型の 6 種類に分類される。幼児の無菌性髄膜炎、夏風邪、熱性疾患、気道性疾患の起因ウイルスとして知られているが、心筋炎の原因となることもある。ウイルスによる心筋炎は発症するまでに特徴的な症状がないため、注意が必要である。また、全国のコクサッキーウイルス B 群の分離・検出状況を型別にみると、近年、CB5 の占める割合が多くなっているが、今年には CB2 が多い傾向となっているため、今後の動向にも注目する必要がある。

○胃腸炎症状のある幼児 2 名からノロウイルス GⅡ が検出された。

🇯🇵 全国 2017 年第 33 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 33 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	312 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	291 例		
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	9 例
	マラリア	3 例	レジオネラ症	42 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	18 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例
	水痘 (入院例)	3 例	梅毒	61 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	2 例
	麻しん	4 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 88%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

RSウイルス感染症の報告数は 5,389 人(1.8)で前週比 106%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.34)の約 5.2 倍である。新潟県、福島県(各 3.8)、愛媛県(3.3)からの報告が多く、年齢別では 6ヶ月～1歳が全体の約 6割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第34週(8月21日～8月27日)

疾病名		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	7		1		6					
	定点あたり	0.03	0.12	0.00	0.10	0.00	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	69	89	37	17	12	12		6		5	
	定点あたり	1.92	2.47	3.70	2.83	3.00	4.00	0.00	1.50	0.00	1.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	20	3	11	2	4					
	定点あたり	0.75	0.56	0.30	1.83	0.50	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	36	33	15	4	2	3	3	2	1	3	
	定点あたり	1.00	0.92	1.50	0.67	0.50	1.00	1.00	0.50	1.00	0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	238	262	65	57	7	35	48	14	3	30	3
	定点あたり	6.61	7.28	6.50	9.50	1.75	11.67	16.00	3.50	3.00	7.50	3.00
水痘	報告数	17	22	2		6	4	1	6		3	
	定点あたり	0.47	0.61	0.20	0.00	1.50	1.33	0.33	1.50	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	126	116	23	14	24	9	5	8		29	4
	定点あたり	3.50	3.22	2.30	2.33	6.00	3.00	1.67	2.00	0.00	7.25	4.00
伝染性紅斑	報告数	3	1			1						
	定点あたり	0.08	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	30	12	3	3	2	2	3		5	
	定点あたり	0.61	0.83	1.20	0.50	0.75	0.67	0.67	0.75	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	124	142	25	8	46	11	3	14		27	8
	定点あたり	3.44	3.94	2.50	1.33	11.50	3.67	1.00	3.50	0.00	6.75	8.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	7	1		1					5	
	定点あたり	0.42	0.19	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	19	7	9	3						
	定点あたり	2.67	3.17	2.33	4.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～34週)

2類感染症	結核	125例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	11例	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	7例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	13例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	8例	破傷風	4例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲